随　筆

ヘンリー・ダイエル『技術者の教育』(4)

梅溪　昇*・山中　泰**

（前号のつづき）

私がここで諸君は決断の気質（decision of character）を養うべきだと申せば，矛盾したことのように聞えるかも知れません．その気質がなければ，自主性のある人とは言えず，反対の衝動にかられたり，あるいはすぐれた知性をもった人に隷属することになります．本当の決断の気質は，中味のないうぬぼれや愚かしい頑固さとははっきり見分けがつくもので，常に自分の前にある関心事についての明快にしてよく理解した認識，そしてその認識に基づく迅速にして正確な論議，および自分の行動についての誠実な是認に基づくものであります．決断の気質をもつことによって，優柔不断の人が遭遇する多くの干渉やうるさいことから免れるでありましょう．どんな形にしろ，こちらに弱さがあれば，相手に尊大の気を起こさせるものです．反対に，しっかりした決断心（a firm decisive spirit）があると認められれば，気まぐれに教えようとした意図や，悪意にみちた攻撃が急に消え，少なくとも注意して余り近寄らなくなるのは不思議なことです．

しかしながら，決断だけでは不十分であり，諸君は忍耐を持たなければなりません．日本ではこの素質が幾分欠けていると認められなければならないと私は思います．過去数年間において，どれだけ多くの企業が威勢よく創始されながら，僅かの期間に跡形なく消えうせて，無駄に費された資金の思い出しか残らなかったことでしょう．

諸君がささいな事で落胆するようなら，決して大事を仕遂げることはできません．事実，困難を伴うのが大きな計画の本質であり，強固な意志をもってすればその困難も消え，諸君の努力は成功をもって報いられるものです．人生における成功の大きな秘訣は，大きな好機をつかむことができることにあります．座右の銘は，“semper paratus”，すなわち“常に備えあり”とすべきです．

偉大な英国の詩人は，つぎのごとく言っています．

「人事にはおよそ潮時というものがある．うまく満潮に乗じさえすれば成功するが，かりにもこいつを捕えそこなうと，人間一生の航海は，不幸災厄つづきという浅州にとぢこめられてしまう．」*

諸君の中で将来専門の分野において高い地位についた人が振り返ってみて，自分の成功の大部分が，不注意や鈍感な人が見落した僅かな機会をうまく利用したことによってえられたことを知って驚くことでありましょう．

それ故に諸君のすべての仕事においても勤勉でありなさい（Be diligent）．自分のすべての行動に対し，完全な自己是認をえられるように努めなさい．そして諸君が正直な人間でさえあれば，他人の不賛成を何にも恐れることはありません．諸君の雇い主の利益は自分自身の利益でもあると心得なさい．このことは必ずしも自分に与えられた企画に盲従することによってえられるのではありません．もし諸君の判断，知識，経験によって，それらの企画が適当でないと考えたならば，その時は自分の反対意見を自由に，しかしながら礼儀正しく開陳しなさい．そうすれば，諸君が政府雇いであるか或は私的な個人雇いであるかに関係なく，へつらった方針をとったときよりも，諸君は必ず大きな真の

*梅溪　昇（Noboru UMETANI），大阪大学，文学部，大阪大学教授，文学博士，日本近代史
**山中　泰（Tai YAMANAKA），アメリカ合衆国，エモリー大学卒（ギリシア古典学部），大阪大学文学部研究生

* Shakespear, *Julius Caeser* 四幕三場 218～221 行，Brutus の言葉．中野好夫氏訳に拠る．以上，藤井治彦氏の教示をえた．

尊敬を払われるものだということが判かるでしょう．

何か重大な問題について雇い主と諸君の意見とが喰い違うならば，最初の機会にその仕事から手を引きなさい．自分に仕事を命ずる人を軽蔑し，或は軽蔑したふりをし，しかもやめないで雇われている人々によってなされる不熱心な仕事からは決して良い結果は生まれません．

実際の仕事にあたっては，諸君はもはや大学の研究室にいるのではなく，また雇い主のお金は実験をするために諸君にまかせられているのではないということを忘れてはなりません．科学上のすべての進歩を利用し，成功した発明をすべて利用する準備をしておきなさい．もし諸君或は諸君の雇い主が実験的作業のためにある一定金額をあてることができれば，もちろんそうするのがよいが，それは貴方がたの業務用のものとはっきり区別しておきなさい．

われらの職業の立派な代表であるジョージ・スティーブンソン（George Stephenson）は，“物を操縦すること”（“engineering matter”）はたやすいが，必ずしも“人を操縦する”のはたやすいことでないと，しばしば語りました．やがて諸君もまた人間の感情，関心，頑固さの方が自然の障害よりも大きな困難をもたらすことが判かると，私は思っています．このような困難に対しては，私がさきに申述べました決断の気質によって，また結果の如何にかかわらず諸君が正しく行動しようとすることを示すために最善を尽すことによって最もよく立ち向うことができましょう．あらさがしを高度に発達した義務感と誤解させるような巧みな形の偽善には用心しなさい．諸君の部下には全体の計画を遂行するのに必要な指示を与え，なるべく細いところは任せるようにしなさい．人は単なる機械として取扱われると，自分の仕事に全く興味をなくしてしまうものです．万一誤りをみつけた場合は，自分の意味することに関して何ら疑問の余地のないような仕方で，しかもできるだけ不必要に感情を高ぶらせないで誤りを指摘しなさい．諸君は無能，怠情，そしてあらゆる種類の不徳をさげすむものであることを明瞭に示しなさい．このような行為に出ることによって，諸君はそんな行為に出ないよりは評判があまり良くないかも知れないが，諸君が彼等の偏見を攻撃しない限り諸君に親しみを示す人達の良い評判などを持つ値打がないことがやがて判かるでしょう．

最後に諸君に与える助言はこれです——すなわち，健康に注意せよ（Take care of your health）ということです．最後になりましたが，これは実に最も大切なもので，健康と体力の相当量(a fair amount of health and strength)がなければ，諸君のすべての知識は役に立ちません．活力に満ちた健康さから生ずる強力な意志と疲れることのない精力があれば，実社会においては，たとえ如何に学問に秀れていても過度の勉強によつって弱弱しくなった競争者にたやすく勝つに至ることが判かると思います．それ故に，私は，よく運動をし（take a good deal of exercise），何事においても程よい加減にし，さらに心配事をさけるよう，強く勧めます．真面目にして精一杯の仕事は貴方の害にはならないが，心配といらだちは人を駄目にしてしまいます．

さて，今や別れを告げるにさいして，私が望みたいのは，諸君自身の地位のみならず，相当の範囲まで本学および本学の教師の地位が諸君の将来の行状にかかっているということを忘れないでほしいということです．本学の将来の地位向上のため諸君の全力を尽して下さい．本学に十分の準備のある，男らしい，活発な精神をもった学生を送り込み，常に博物館の利益を心にとどめ，もし諸君が幸運にめぐまれて金持ちになれば，大学というところは，たとえ豊かであっても，さらにより多くの寄付金を必要としていることを覚えていて下さい．

私の同僚達も私と共に諸君の過去および将来の行動による成功を祈り，かつ愛情をこめて諸君に別れを告げたいと思います．

非専門教育（Non-Professional Education）

（山中訳・梅溪校閲）

諸君，

数日前，本学の最初の卒業式にさいして，

私は専門教育について若干述べましたが，さらに英語討論会（the Dialectic Society）から講演するよう依頼を受けましたので，厳格な専門教育によって狭い枠にはまり勝ちな人達を救い出し，社会の一員としての義務を遂行できるようにするために，誰にも必要な非専門教育（Non-Professional Education）という題を選びました．

もし人生がもっと長く，かつ余裕があり，思考や研究が，殆んどの場合のように目的のための単なる手段であるのではなく，それ自体目的であるならば，現在本学で行われている研究の課程よりももっと完全なものを計画するのは容易なことであります．すなわち予科課程（the General and Scientific Course）がかなり延長され，そこでは技術的応用についてのすべての思考はひとまずはずされて，知性を発達・強化し，判断力をいきいきさせ，論理的思考力を養い，趣味を洗練することを目的とし，これらの目的がかなり達せられた後に，はじめて専門教育が始められたでありましょう．

私が諸君に説明しましたように，諸君が初期に選んだ科目はある程度こういう目的をもち，同時に後に受ける専門教育の基礎となるように意図されています．しかしわれわれの自由になる時間は至って短いので，もし諸君の大学教育がその後の勉学によって補われなければ，「平和の時も戦争の時も，公私共に如何なる仕事をも公正に，手ぎわよく，寛大に遂行できるような人間をつくる」という，完全にしてゆたかな教育についてのミルトンの定義(Milton's definition of a complete and generous education)を満たすことができないのであります．

数日前に話しましたように，諸君は自分の専門に関する普通の細目については詳しくても，物事に対する公平な考察をするのにはきわめて不適格であったり，また公的な事柄に関する意見が職業的な利己主義や階級偏見によって片寄る傾向があります．もし諸君が文学・哲学・美術，そして諸君の専門に直接利用されない科学について全く無智であれば，諸君はたいていの専門家につきものの狭量・偏見・癇癪から逃がけることができず，またあらゆる時代の偉大にして優秀な作品を勉強することに伴う連想（associations）や影響（influences）をもって自分を包み囲むことができなくなります．

現在の日本における教育は，その教育を受ける者が自活できるような，完全に実用的な性質のものにする必要があると，私は常に主張してきました．いかなる教養も根底に自尊心があり，かつ友達や政府から独立した人格を作るのでなければ，その価値があるとはいえないからであります．またあらゆる真の偉大さの基礎は，正直な，しっかりした自己信頼であると信じているからであります．

しかしながら，人間は生計を立てる以外のことはしていけないということはないので，大学時代だけでなく，実社会に出てから後も，暇のある時に諸君が注意を払うべき学科の二，三についてまもなく言及することにしましょう．そのような学科の勉強の必要性については，多くの秀れた人びとによって雄弁に語られているので，私の意見を強調するために，彼等が書いたものの中から自由に少し引用させてもらうことにします．

ここに挙げる科目を一人で全部やらなければならないということではありません．私が主張したいのは，すべての専門家は非専門の勉強に少しは時間をさくべきだということです．百科辞典的知識は浅薄という別名にすぎず，そうした知識をもっていると主張する者を，自分のもっている特殊な技術をどこへでもでしゃばり気味にもち歩く者より以上に避けるべきであります．

私はすでに数学や物理の科目が専門に用いられる他に，知的教養の目的のために有益であることを指摘しました．そして諸君は余暇にこれらの科目に注意を払えば，私が警告した狭い専門の枠におちいらないですむと思われるかも知れませんが，数学ばかりを余り勉強しすぎると，諸君が避けたいと思っている危険と全く同じ程いやな風変りな知的性格を生ずるようになることを覚えていなければなりません．

（次号へつづく）